

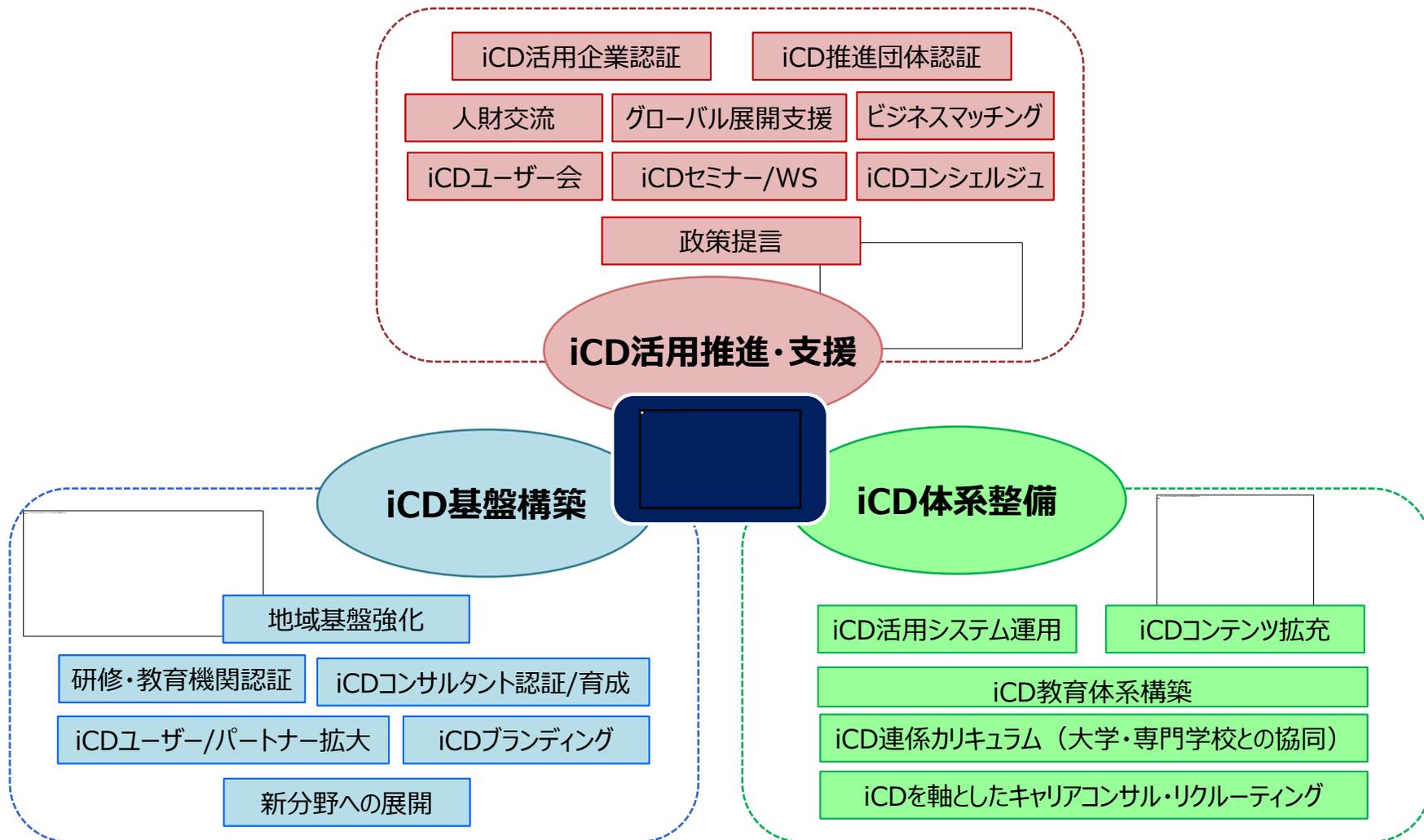
2020年度 事業計画



Ver1.0

一般社団法人iCD協会

iCDの力で会社を、人を元気にする



1.iCDの認知度を上げ、企業による実際の活用の機会をつくる

カンファレンスや説明会等により国内でのiCD認知度の向上を図るとともに、iCD活用ワークショップ等の実活用の機会を提供して幅広いiCDのファン作りを行う。

2.iCD活用企業認証制度」を運営し、iCD活用企業の拡大を図る

iCDを活用している企業（以下、iCDユーザー企業）同士の情報交換を実施し、企業同士のビジネスマッチングや人材交流を図り、iCDユーザー企業の発展を支援する。また海外展開をしている企業やこれから展開を検討している企業に対して、グローバルなIT技術者育成や人事評価等の企業活動の支援を行う。

3.iCDを活用している企業の発展を支援する

iCDを活用している企業同士の情報交換を実施し、活用コンサルテーション等のサポートを実施する。また、企業同士の人材交流やビジネスマッチングを図り、活用企業の発展を支援する。

4.iCDコンテンツの内容を更新する

企業活動の業務（仕事）を整理したタスクディクショナリと、タスクを遂行するために必要な能力を整理したスキルディクショナリの内容を、内外の環境の変化やユーザーニーズに応じて逐次ブラッシュアップし、グローバル標準として高度な内容を維持する。

5. iCDシステムの活用を推進する

現在IPAが提供しているiCDシステムに対し、機能追加や操作性の向上等、カスタマイズを実現し、iCDシステムの活用を促進する。

6. iCDを活用した教育体系を確立する

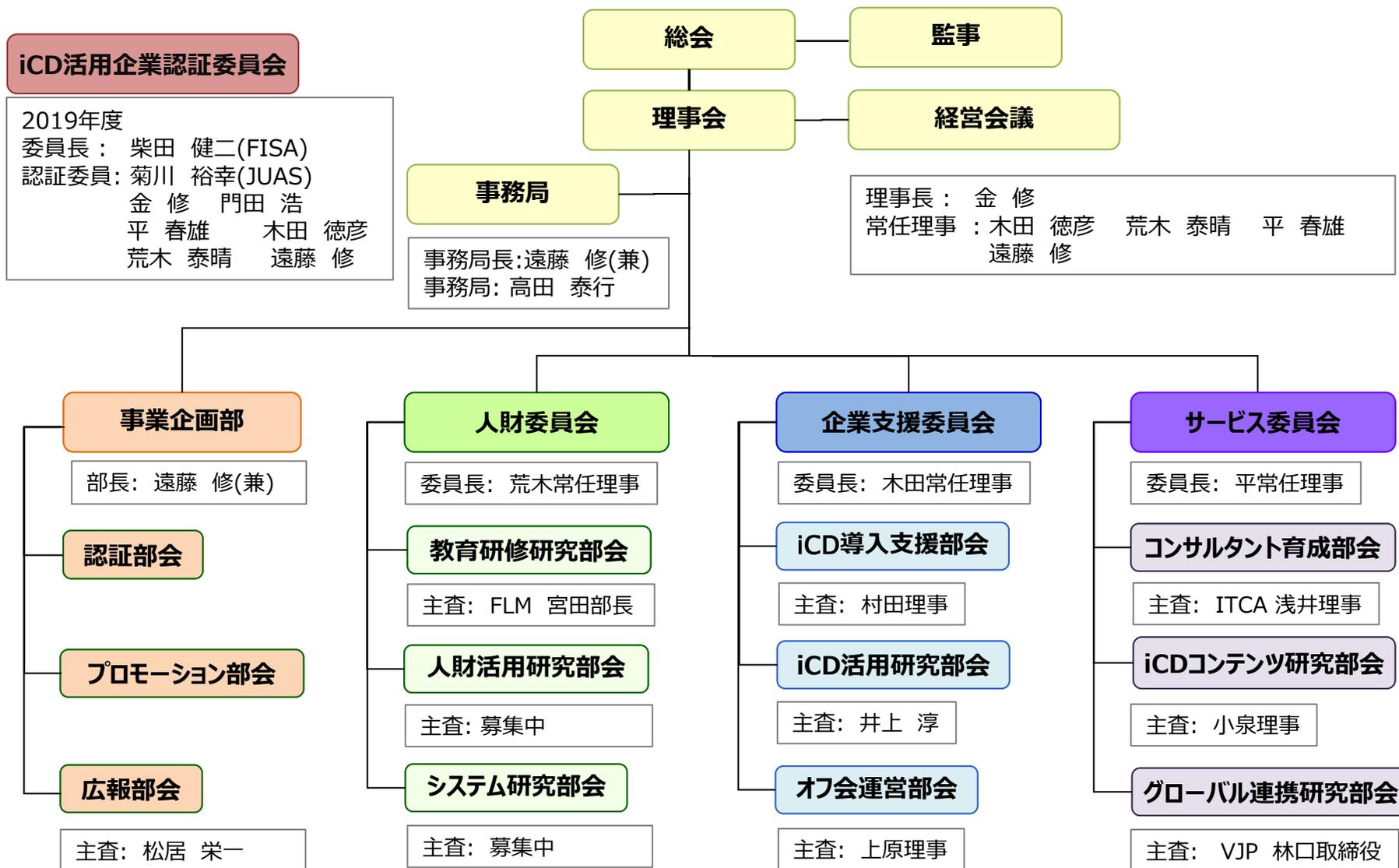
学校関係および教育ベンダー等と協力し、iCDを活用した人材育成施策を実行する体制を確立する。また、これらの機関をiCDエディタラーとして認証し、カリキュラムや研修手法を研究する。

7. iCDの海外展開を促進する

海外展開をしている企業や、これから展開を検討しているグローバル企業に対して、iCDを用いて海外におけるIT技術者育成や人事評価等の支援を行う。

2020年度 事業計画

1. 組織体制



2-①. 2020年度重点施策

① 各種認証制度ルール等整備（認証部会）

「iCD活用企業認証制度」「コンサルタント認証制度」「iCD準拠認定制度」等の認証/認定制度について、制度の枠組みを整理し、認証基準の明確化などについて標準化を図る。

② 営業活動（プロモーション部会）

2019年度に引き続き、「ブルー認証企業のiCD活用促進」（iCD説明会や体験セミナー、活用ワークショップへの誘導）、「シルバー以上の認証企業の協会会員化」（iCD活用システム優遇施策との連携等）、「協会会員維持活動とコンサルティングサービス強化」（定期的な訪問によるサポートと課題解決のためのソリューション提案）の3段階でiCD活用企業へのアプローチを強化する。

③ 広報活動の充実化

iCDとiCD協会の認知度を高めることは最優先の喫緊課題である。そのため、専任の担当者を配置し、魅力的なホームページの改編と運営、メールマガジン等の情報発信を弛まらずに推進する。

④ iCD連携研修紹介制度の強化（教育研修研究部会）

2019年度末より提供を開始した表記の制度につき、提供研修・資格ベンダーの拡充と、利用者へのプロモーションを実施し、協会の収益基盤として発展させる。

2-①. 人財委員会重点施策

⑤ 「得意タスクマップ&募集タスクマップ(仮称)」運用（人材活用研究部会）

会員様サービスとして、ポータルサイト上に各社の「得意タスクマップ(ブルーリスト)」と「募集タスクリスト(レッドリスト)」を設計、運用を開始し人材プラットフォームの一部運用を開始する。

⑥ iCD活用システムに関する研究（システム研究部会）

IPAからの利用許諾により提供を実施している「iCD活用システム」の廃止を軸に、協会会員が提供している他のシステムとの機能比較（代替システムの構築）や、活用システムのあるべき姿などについてユーザーも交えた研究を行う。

⑦ iCDに関する啓発活動（iCD導入支援部会）

2019年度に実施したiCDセミナーのフォローを行うとともに、今年度も引き続きiCDの日本国内における知名度の向上を図り、iCD活用ワークショップの計画・開催につなげて行く。また、CSAJ、JUAS、大阪地区、名古屋地区、九州各県などこれまで開催実績のある拠点や、広島、宮城などの新規拠点での開催を目指す。

⑧ iCDユーザー会（情報交換会）の実施（iCD活用研究部会）

全国、および、各地域にてiCDユーザーの情報交換を目的としたユーザー会を開催する。原則として全国規模を1回、関東地区で3回程度、大阪地区と名古屋地区で2回程度、九州地区で1～2回のほか、都道府県別にもニーズに応じて開催し、iCDとiCD協会のプレゼンスを高める活動とする。

2-③. サービス委員会重点施策

⑨ 「オフ会」の開始と運営（オフ会運営部会）

従来のユーザー会や会員交流会とは別に、会員が興味あるテーマを設定して情報交換やブレストを行えるよう「オフ会」を設定して運用する。

⑩ 「アドバイザー認定講習」の本格運用（コンサルタント育成部会）

2019年度に制度構築と運用を開始した表記の件につき、実施していただいた「ちば経営応援隊」と引き続きコラボして本格運用に入る。また、2年ごとの更新について、その実施方法の検討を開始する。

⑪ タスクディクショナリ・スキルディクショナリの拡充（iCDコンテンツ研究部会）

2019年に着手の「AIタスク検討」を引き続き継続し、上期での公表を目指す。また、「営業版iCD」を作成し、今期中の公表を目指す。

⑫ SFIAとの連携（グローバル研究部会）

SFIAとの間でMOUを結ぶなどの提携を行い、日本における拠点としての地位を確立する。また、それらの提携から得た海外動向の分析を実施し、新たなタスクやスキルについての検討を行うとともに、他の団体や大学などとの連携に繋げる。

③. FY2020 事業予算

| 科目 | 2019実績 | 2020予算 |
|---------------------|---------------|---------------|
| (1) 経常収益 | | |
| ①受取会費 | 17,553 | 19,500 |
| ②事業収益 | 31,787 | 31,300 |
| ワークショップ/コンサルティング等収益 | 28,173 | 26,100 |
| 活用システム/研修仲介/書籍販売等 | 3,614 | 5,200 |
| ③雑収益 | 108 | 105 |
| 経常収益計 | 49,448 | 50,905 |
| (2) 経常費用 | | |
| ①事業費 | 26,148 | 24,260 |
| 人件費/業務委託費 | 22,204 | 17,330 |
| その他事業費 | 3,944 | 6,930 |
| ②管理費 | 30,086 | 25,986 |
| 人件費/業務委託費 | 17,595 | 14,236 |
| その他管理費 | 12,491 | 11,000 |
| 経常費用計 | 56,304 | 50,246 |
| 当期経常増減額 | ▲6,856 | 659 |

End of File